

2024年12月1日(日)、2025年1月12日(日)
東京都公立学校教員採用「任用前専門性向上講座」

講義① 教職を始めるにあたって



国立大学法人 東京学芸大学
梶井芳明・宮内卓也・藤野智子・鈴木 聡

はじめに

<研修の進め方>

- 1日目：12月1日（日）
 - ①講義：教職をはじめるとにあたって
 - ②講義：模擬授業に向けて
- 2日目：1月12日（日）
 - ③模擬授業：指導案の検討
 - ④模擬授業：模擬授業の実際

4月から教師になる

ディスカッション

どんなことが不安ですか？

最近の児童・生徒の実態

- 学力差、環境差、特別な配慮を要する児童
- 不登校、暴力(言葉)
- SNSの普及...問題が見えにくくなる
- 貧困
- インクルーシブ
- 個別最適な学び→個に応じた学びのスタイル
- 協力が大事

教職員がチームを組んで対応していく

学校の現状

- 利用できるものが広がっている: ICT活用
- 子どもが学ぶ力をいかに支援できるか
- やりがいがある
- 働き方改革が進んでいる
- とことんやることと効率化すること
- バランスが大事
- 大変なことはどの仕事でも同じ！

今も変わらない児童、生徒、学校のすばらしさ

教師の魅力

- 学習指導要領 裁量の幅がある クリエイティブな仕事
- それがないと型通り 個人の力を発揮できる場！
- やって見ないとわからない、1年目はやるしかない
- お互いの授業を観るチャンスをつかむ
- あこがれの先輩教師を見つける
- 成長に関り、何年も見続けられるよさ
- 教育者として、組織人として、専門職として

教師は挑戦者、探究者、学び続ける存在

ICT活用について

- GIGAスクール構想、ひとり1台端末
- 教室環境も変化、コロナ禍で加速
- 何とかなる
- 子どもの慣れ、活用力はすごい
- 紙ベースもまだまだ これではできないものも
- Nits基礎的研修シリーズ(教職スタート講座 小学校編)
「24 ICT 活用(GIGA スクール構想)」を参照

「使わなくては…」から「便利だから使う」へ

資質、能力について

- 「コンテンツベース」から「コンピテンシーベースへ」
- 学力観の変化
- 「知識、技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」
- そのために「個別最適化」と「協働的な学び」
- 学び続ける姿を支える

「学び手」を育てる

保護者との信頼関係づくり

- 対話の重要性
- 話すより「聴く」姿勢
- 保護者会、面談、学級、学年通信で発信する
- 問題が起きてからではなく先手を打って発信する
- 外国の方への対応
- とともに育てる意識

時間がかかっても分かり合えることを信じよう

ディスカッション

困ったことが起こったらどのように解決しますか？

困った時の対応

- 鉄則は、「報告」「連絡」「相談」
- ひとりで抱え込まないでヘルプコールを
- 「へこまない人」から「立ち直りが早い人」へ
- 服務事故には注意
- 関係性、コミュニケーションとりながら、レジリエンス

チームで解決していこう

2024年12月1日(日)、2025年1月12日(日)
東京都公立学校教員採用「任用前専門性向上講座」

講 義 ② 模擬授業に向けて



国立大学法人 東京学芸大学

梶井芳明・宮内卓也・藤野智子・鈴木 聡

学習指導案にはどんなものが含まれるでしょう？

基本的な学習指導案の構成(例)

1. 単元名:教材や学習指導を主題ごとに関連をもたせ、一定の教育内容のためにひとまとめにされた学習計画
2. 単元設定の理由
 - (1)教材について:内容、資質・能力
 - (2)児童生徒について:当該教科、日常の学習の児童・生徒の実態
 - (3)指導について:どのように学ばせていくのか(指導方法)
3. 単元の目標:資質能力の3つの柱
4. 単元の評価規準:3観点
5. 単元の指導計画
6. 本時案
 - (1)単元のねらい:本時で育成する資質・能力
 - (2)本時の評価規準:3つの観点から1~2つ
 - (3)展開:導入、展開、終末

単元目標

- 知識及び技能
 - ...何を理解しているか、何ができるか
- 思考力、判断力、表現力等
 - ...理解していること、できることをどう使うか
- 学びに向かう力、人間性等
 - ...どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか

単元の評価規準

- 知識・技能
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

目標を設定したら、その目標を達成するために、3つの観点から児童・生徒のどのような姿を評価するのか

単元指導計画

- 導入：学習問題（課題）が生れる事象
学習問題生成、学習計画立案
- 展開：調べる、課題解決
- 終末：まとめる、振り返る

上記は、課題解決型の例

児童・生徒の思考の流れに沿っているか

主体的、対話的、深い学びの視点から見直す

単元指導計画の考え方は、教科の特性がある

本時案

- (1) 本時の目標: 本時で育成する資質・能力
- (2) 本時の評価規準: 3つの観点から1~2つ
- (3) 導入、展開、終末の流れ

導入: 子どもの疑問、気づき→学習問題

展開: 学習問題を解決する活動

まとめ: 本時の学習の振り返り

発問、主発問が大事

留意点

- 発問計画
 - 児童・生徒の反応を予測する
- 板書計画を立てる
 - 本時の流れが一目でわかるように
- 細案：単元についてまで詳細に書く
- 略案：本時案のみ書く
- 助言を得るとよい

教材研究の方法

- 東京都研修センター等が発行する指導案例を参照する
- 教育関係の資料を参考にする
- オンデマンド授業など、充実した資料がたくさんある
- 他社の教科書も見てみる
- 教科書の指導書も活用できる
- 専門書も読んでみる

参考資料

- 東京都教職員研修センター
学習指導案のページ

<https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/08ojt/helpdesk/plans/>

- 国立国立教育政策研究所
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(小学校編・中学校編)

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html>

- 東京都教育委員会
「新学習指導要領に対応した学習指導案の書式例」

www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/document/global/files/junior_high/06.pdf

次回までの課題

指導案を書いてみましょう

- 細案(スライドの基本的な学習指導案構成(例)参照)

※都教委資料等参考に

- A4で作成してください
- 7部、プリントアウトして持参
- 模擬授業する場面:10分程度(未定)を吟味する
 - ・一番のこだわり
 - ・不安なところ
 - ・意見をもらいたいところ

実際の授業で(模擬授業に向けて)

- 明確な指示
- 聞き取りやすい声の大きさ
- 抑揚
- 指名方法
- 板書
- 吟味された発問
- お互いに授業見合うとこの視点にしましょう！